

木目シートのできるまで 2026

2026. 4.4 土 - 6.14 日

印刷博物館 P&Pギャラリー

開館時間：10:00～18:00

休館日：毎週月曜日（ただし5月4日は開館）、5月7日（木）

入場料：無料（印刷博物館展示室（地下）にご入場の際は入場料が必要です）

主催：TOPPANホールディングス株式会社 印刷博物館

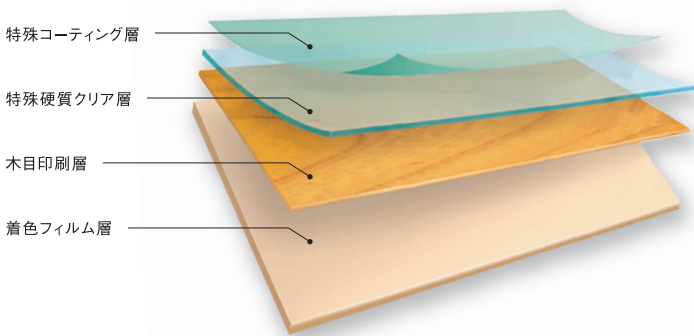
協力：TOPPAN株式会社 生活・産業BU 環境デザインSBU

木目シートの できるまで の2026

印刷博物館 P&Pギャラリーでは、2006年に「木目シートのできるまで あなたの家のとびらのひみつ」展を開催し、初めて建装材の印刷に焦点を当てました。あれから20年が経過し、木目シートはどのように進化したのでしょうか。本展では、市場調査を皮切りに、サーフェスデザイン(Surface Design: 壁・床・建材などの表面に印刷技術を使って意匠を施し、質感や風合いを再現する)によって生み出された素材データが、グラフィック製版・印刷、加工を経て、木目シートになるまでを、実物資料で追いかけます。さらに、心地よさとサステナビリティを両立させる素材選び、緻密な質感設計、機能的な空間演出など、「印刷」だからこそ実現できる木目シートの多様な側面を探ります。木目や石目などの自然物を精密に再現できる意匠の力と、印刷だからこそ付与できる機能の力が、壁や床、什器など、皆さんの生活のいたるところで暮らしに彩りを与えていることを実感していただけたらと思います。例えば、近年注目されている木目が多く使われているオフィスは、働く人に安心感を与えるのではないのでしょうか。社内の会話が活発になれば、コミュニケーションの促進や新しいアイデアの創出につながる事が期待できます。本展で、時代に合わせてますます高まる木目シートの価値をぜひご体感いただければ幸いです。

「木目シートとは？」

木目シートとは、「化粧シート」と呼ばれる印刷物の一つです。化粧シートは、木目や石目、抽象的な柄などを印刷した薄いシートで、基材の表面に貼ることで本物のような質感やデザイン、傷や汚れに強い高い機能性を付与できる建装材です。1950年代後半、住宅の近代化と需要が拡大するに伴って、印刷は建装材分野へと進出していきました。現在、化粧シートは住宅や店舗、オフィスなど、さまざまな空間の床・壁・家具・什器などに広く使われています。



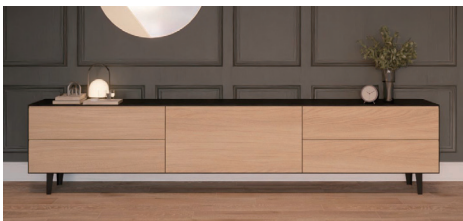
「木目シートのできるまで」

木目シートは、膨大な調査と緻密な技術から生まれた「デザイン」の結晶です。グローバルな視点でのトレンド分析から、市場に合わせたデザイン制作、そして特殊な表面加工に至るまで、一貫したモノ作りを行っています。本物の木を超えようとするデザイナーの情熱と、高度な印刷テクノロジーが織りなす「木目デザイン」の舞台裏を制作工程とともに紹介します。



「いろんなところに 木目シートが！」

木目シートは、私たちの暮らしのあらゆる場所で使われています。床や壁、家具や什器——その一つひとつに、空間をつくるサーフェスデザインの意図と、それを実現する印刷技術の積み重ねがあります。見た目の美しさだけでなく、使い続けるための機能や耐久性まで考え抜かれた設計。それが、空間を静かに支えています。普段は意識しないけれど、確かにそこにある「仕事の跡」を、ぜひ思い浮かべてみてください。



お問い合わせ先 印刷博物館

〒112-8531 東京都文京区水道1丁目3番3号
TOPPAN小石川本社ビル
TEL: 03-5840-2300(代) FAX: 03-5840-1567
Webサイト: <https://www.printing-museum.org/>



展覧会開催期間中、ギャラリートークやワークショップなどのイベントを順次開催する予定です。詳細は印刷博物館Webサイトをご覧ください。

交通のご案内

- 江戸川橋駅 東京メトロ有楽町線(4番出口)より右へ徒歩約8分
- 飯田橋駅 JR総武線(東口)、東京メトロ有楽町線、東西線、南北線、都営地下鉄大江戸線(B1出口)より徒歩約13分 東京メトロ丸の内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
- 後楽園駅 九段下～飯田橋駅前～小滝橋車庫 / 「大曲」「東五軒町」下車徒歩約3分
- 都営バス【飯64】 上野公園～春日駅前～小滝橋車庫 / 「大曲」「東五軒町」下車徒歩約3分
- 都営バス【上69】 目白台・小日向ルート 「TOPPANホール 印刷博物館」下車徒歩約3分
- 文京区コミュニティバス【B-ぐる】

※地下駐車場がご利用いただけます(有料)。

